

# 令和3年 労働災害発生状況 (令和3年7月末現在)

(休業4日以上死傷者数)

水戸労働基準監督署

## 業種別

業種	年	3年		2年		同期比	
		死亡	休業	死亡	休業	死亡	休業
製造業	食料品		20		19		1
	木材・木製品		4		2		2
	化学工業		6		8		-2
	金属製品		12		13		-1
	一般・電気・ 輸送用機械		19		5		14
	その他		20		14		6
	小計		81		61		20
建設業	土木工事		19	1	8	-1	11
	建築工事 (木造除く)	2	20		16	2	4
	木造建築工事		5		4		1
	その他の工事		7		8		-1
	小計	2	51	1	36	1	15
陸上貨物運送事業		32		35		-3	
畜産業		7	1	8	-1	-1	
小売業		54		54			
社会福祉施設		62		30		32	
飲食店		12		14		-2	
その他		149		94		55	
計		2	448	2	332	0	116

### STOP! 熱中症

令和3年5月～9月  
クールワークキャンペーン  
— 熱中症予防対策の徹底を図ろう —

キャンペーン期間 (5月1日～9月30日)

**STEP 1** □ **WBGT値の把握**  
JIS規格に適合したWBGT指数計でWBGT値を測りましょう。

**STEP 2** **準備期間中に検討した事項を確実に実施するとともに、測定したWBGT値に応じて次の対策を取りましょう。**

- WBGT値を下げるための設備の設置
- 休憩場所の整備
- 通気性の良い服装など
- 作業時間の短縮
- 熱への順化
- 水分・塩分の摂取
- ブレックリング
- 健康診断結果に基づく措置
- 日常の健康管理など
- 労働者の健康状態の確認

**STEP 3** **熱中症予防管理者等は、WBGT値を確認し、巡視などにより、次の事項を確認しましょう。**

- WBGT値の低減対策は実施されているか
- 各労働者が暑さに慣れているか
- 各労働者は水分や塩分をきちんと取っているか
- 各労働者の体調は問題ないか
- 作業の中止や中断をさせてよいか

準備期間中に検討した設備、休憩場所を設置しましょう。  
休憩場所には水、冷たいおしぼり、シャワー等や飲料水、塩飴などを設置しましょう。  
準備期間中に検討した通気性の良い服装なども着用しましょう。

WBGT値が高いときは、**単独作業を控え**、WBGT値に応じて**作業の中止**、**こまめに休憩**をとるなどの工夫をしましょう。

暑さに慣れるまでの間は**十分に休憩を取り**、**1週間程度かけて徐々に身体を慣らし**ましょう。  
特に、**入職直後や夏季休暇明けの方は注意**が必要です!

のどが乾いていなくても**定期的に水分・塩分**を取りましょう。

休憩時間にも体温を下げる工夫をしましょう。

①糖尿病、②高血圧症、③心疾患、④腎不全、⑤精神・神経関体の疾患、⑥広範囲の皮膚疾患、⑦感冒、⑧下痢などがあると熱中症にかかりやすくなります。  
医師の意見をきいて人員配置を行いましょう。

前日のお酒の飲みすぎはないか、寝不足はないか、当日は朝食をきちんと食べたか、健康管理を確認しましょう。熱中症の具体的な症状について説明し、早く気付くことができるようにしましょう。

作業中は管理者はもちろん、作業員同士お互いの健康状態をよく確認しましょう。

**異常時の措置**  
～少しでも異常を感じたら～

- ・ **いったん作業を止める**
- ・ **病院へ運ぶ、または救急車を呼ぶ**
- ・ **病院へ運ぶまでは一人きりにしない**

## 年齢別

年齢別	件数	率(%)
～19歳	13	2.9%
20～29歳	54	12.1%
30～39歳	(1) 81	18.1%
40～49歳	(1) 93	20.8%
50～59歳	101	22.5%
60歳～	106	23.7%

## 月別

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
3年			(1)		(1)								(2)
	100	76	78	48	70	38	38						448

## 規模別

## 事故の型別

業種	規模	規模別				事故の型別										合計			
		規 模 九 人	一 四 九 人	五 九 人	一 〇 〇 人	墜 落 ・ 転 落	転 倒	激 突 さ れ	巻 込 ま れ ・ 挟 ま れ	こ 切 す れ	交 通 事 故	動 作 の 反 動	そ の 他						
製造業	食料品	2	9	6	3		4		5		3		3		1		1	3	20
	木材・木製品	3	1								1		1		1			1	4
	化学工業		1	1	4		1						4					1	6
	金属製品		9	3			1		1		1		6				2	1	12
	一般・電気・ 輸送用機械		7	1	11		1		1		1		1		2		3	10	19
	その他	3	8	1	8		2		1		2		4				2	9	20
	小計	8	35	12	26		9		8		8		19		4		8	25	81
建設業	土木工事	7	12				3		3		4		2		1		1	3	19
	建築工事 (木造除く)	13	5	2			6		2		1		1		1		(2)	8	(2) 20
	木造建築工事	4	1				4					1							5
	その他の工事	5	2				4					1						2	7
	小計	29	20	2			17		5		6		3		2		3	(2) 13	(2) 51
陸上貨物運送事業	4	18	6	4		13		4		2		1		3		4	5	32	
畜産業	2	1	1	3		2		1		3							1	7	
小売業	6	22	10	16		7		17		2		2		14		7	5	54	
社会福祉施設		35	18	9		3		6		4		2		3		11	33	62	
飲食店	2	8	1	1		1		3		1		3		2		2	2	12	
その他	12	51	11	75		21		22		8		11		10		12	63	149	
計	63	190	61	134		73		66		28		40		15		44	(2) 147	(2) 448	

数値は、労働者死傷病報告より集計したものであり、( )内は死亡者で内数である。

陸上貨物運送事業は「道路貨物運送業」、「陸上貨物取扱業」を合わせたものをいいます。